


「教材・教具説明書」

学部(小・中・高)

教材・教具名	車いす用学習机
対象児童・生徒	
教材教具写真	
作製・制作のねらい	<p>本児は歩行は可能であるが、普段車イスを使用して学校生活を送っている。学校で一般的に使用する学習机は、車いすに座ったまま学習するには規格が合わない。そこで、車いすに座ったまま学習できるようなサイズの学習机がより児童の正しい姿勢の保持につながり、教室移動の際にも車いすへの移乗の手間が省くことができると考えた。</p>
作り方	<p>本児の使用している車いすの肘掛けの高さを計り、肘掛けが天板と引き出しに当たらないように設計した。それぞれの材木を切断し、実際に組み合わせてから微調整する。木材同士を固定するネジも、可能な限り木の表面に出ないようネジ穴を開けて固定する。角になる部分は入念に削り、危険のないよう配慮する。全体的に材木の表面がなめらかになるようサンダーをかけた。脚の部分は、今後児童の成長や車いすの高さに合わせて、高さを調整できるように設計した。</p>
教材教具の効果	<p>○ 学習時の姿勢の改善 本児は日常酸素ポンベから酸素を吸入して過ごしている。学校内では車いすで移動することが多く、車いすに酸素ポンベを掛けている。車いすを使用したまま学習する場合、一般的な学習机では高さが合わなかった。車いすの高さに合った机で学習することにより、児童の姿勢の改善に役立てることができる。また、児童の成長に合わせて高さも調節することができる。</p> <p>○ 教室移動時の時間や手間の削減 車いすのサイズに合わせた学習机を制作することにより、車いすに乗ったまま机上の学習ができるようになった。学習時も酸素ポンベも使用しているため、車いすのまま学習できると酸素ポンベの乗せ下ろしの必要もなくなる。それによって、教室移動がよりスムーズにできるようになった。</p> <p>○ 通常の学習机より天板が広いため、広々と学習することができる。</p>
今後の課題・改善点	<p>本児が使用している様子を見て、脚が引き出しに当たるので、引き出しの版材を脚の形に合わせて切り抜くように検討している。</p>